	, ,	<i>~</i> .	ж		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,) - X X	15			月連	一 課題	對連	一 ブラン関連	1
総合	2	Ę	汝 策	3	働く.	人々が輝き続	けるまちづ	くり	所从	属部 事業	部 	課長名	岐部則夫	
計画		方	拖 策	11	農業(の振興			所从	属課 農政	課	担当者名	大茂 竜	_
体系	系	基	本事業	32	後継	者の育成			所从	属班 農政	班	(内線)	1175	
	7	hehe n	el m	会計	款	項目	事業連番	法令				成果優先月	度評価結果	(1)
	77	'异4	科目 -	一般			11585	根拠					先度評価結果	R 1 10
幺女	7	即	始年度		96年度	で終了 [□ 26年度かり	二間44 車3	□単	年度のみ	☑単年度繰込	区(開始年度	25	年度)
16.5.	1,	、 1713	如十尺	ш.	20千尺	. C \(\eta \cdot 1\)	」 20 平反 //・・		K7911F1	□期間限	定複数年度	(~	年度)
*	事系		事業の概算	更 (旦体的	かかやり方	手順 詳細	钿。期間限2	字複数年度	事業は全体	(像を記述)			
)、平成24年周	ま及び平成25:	年度において	「集落・地
•	J /1		-	域に	おける	話し合いによ	より問題解決	のための指針	となる「人	・農地プラン	/」を作成する	る。「人・農	地プラン」に	位置づけ
											と は			
			HA		払い、ある。	また、担い日	ト辰未白 に刈	し辰地朱慎の	/励力を打つ	に白には辰り	也集積協力金る	生植りりる。	なの、貝担は	土田田州
			今後の	-,,	-, -,									
V ()	u _s a.	100	2007											
7	alle at	- -	\dagger_1 \dagger_1		T 144.00		# # = V = B A	## A == =	· + + + · ·					
L	亲 丞	労り)	流れ】								⇒人・農地プラ へ給付金。市に			
				"1"	- 4PH 1.3	т-пн - приз	2 1/2 1/3/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1/2 1	// 1	4 2/5 1/3	ANI POLINGIAS EI	44H13 7F2 0 11310	SITE CIMILE	アインに中田山山	
ΙÌ	な	予算	算費目】	人件	費、報	償費、役務費	貴、消耗品費	、補助金						
							る問い合わせ	が多くあって	おり、市議	会議員などだ	ヽらもこの制度	きを利用し新:	規就農者の研	筐保に努め
			风、哦云、			がある。 合が法人化を	を目指すため	に、集落営農	組合の範囲	において. ±	也域ごとの「丿	人・農地プラ	ン」を作成し	,、積極的
						協力金を活用			 + <u>-</u>					, IXIZHJ
			習が寄せ											
られ	て	いる	5か?											
1	Ŧ	見壮	犬把握の	部 (DO,	PLAN)								
	事剂	务事	業の目的	と指	標					・拡充区分				
	A	222222		0333333333333		賃(26年度に行		0.5			度に計画して	いる主な活動	ታ) (PLAN)	
						手のプランへ らの指示があ				年就農給付金	∶の給付 ∵いを通じ、地	せの担い手	たけみ その	出いチー
			協力金の				りの外角中間に	文刊 用如 /			いを通し、元 ·画を作成する		と次め、ての	担い十に
			支援							人化等の支援				
		=							i 5.57.55 + 5.57.5.					
(1)	活!	動打	旨標(事務	事業	の活動	量を表す指標	票)			の主な増減の		/ (* 00 /= #0	ロサーマ <i>体</i> \	1- L 7
			・農地プ						helt:	就長給付金0.	前倒し給付	(半成20年度3	月無止 中昇)	による
	00000000		・農地プ [・]				1 6 占 6 %		<u> </u>	A. L. L. T. L. L. A.	- 1 - 2 - 4	LIP DE		0444
			_{世、何でメ} 農地所有		_ (((v るのか)*	人や日然質が	京寺			の大きさを表 ランに位置付		 労 <i></i>	(単位) (件
辰3	3. //	(()	辰地別有?	Ħ					$\Rightarrow \frac{1}{2}$	八・辰地ノ	ノンに位直に	ハノウイルに吐っ	五件奴	
(3) 1	争回	()	の事業に	1 /	ってす	対象をどう変	えるのか)		③ 时	」 果指煙(音図	の達成度を表	す指煙)		(単位)
			定してい		, C, ,	川外としノ久	~ 3 V/A				付金給付対象			件
				_					⇒ 1	農地集積面		i <i>-</i>		ha
*(3)成	、果	指標設定	の理	由と27	年度目標値記	没定の根拠			,			総トータル	
													全体計	一画
												ŀ	~	年度 0
(0)	ÆJ.	en.	F W = ====	# .										0
		盲碍 作科	票·総事業	Ę	単位	24年度	25年度	26年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	/
	-71	д. (13		-		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)		目標(当初予算)		見込 1	見込 1	/
	1	活	動指標	アイ	件件	3	1 3	1 2	3 0		1	<u>1</u> 2	1 2	/
				1 ア	件	104	180	180	191			195	200	
	2	対	象指標	-	<u> </u>	104	180	180	191	180	190	190	200	
				7	件	4	13	17	17	22	27	30	30	
	3	成	果指標	1	ha	0	0	5			 	5		
			国庫支出	17	千円		13, 471	23, 846	33, 336			40, 000	40, 000	
		пт	国 単 又 に 都 道 府 県 支				10, 4/1	25, 040	JJ, JJ0	17, 373	41, 140	40, 000	40, 000	
	事	別源	地方信		千円					 	 			
		内	セカリ その化		千円					 	╂			
投			繰入会		千円					 	╂			
	ベ		一般財		千円		174	257	452	188	256	256	256	
入	弗	(A) 事業		千円	0	13, 645	24, 103	33, 788			40. 256	40, 256	
	貝	ĺ	A) 事未 (A)のうち指			0	474	371	369		· ·	0	0	
量			(A)のうち時間		_	0	328	216	214			326	326	
里	k -	īF‡	見職員従事			5	520	3	6			3	3	
j	件		正べ業務時		時間	1, 350	1, 150	100	1, 371	+	+	100	100	
	費	********	(B) 人件費		千円	5, 495	4, 581	398	5, 462			398	398	/
<u>-</u>		*********	レコスト(A)			5, 495		24, 501	39, 250		41, 802	40, 654	40, 654	/
emini iii	antiiiii	anaitiiiii	4	(1)							,		,	

事務事業名		所属部 事業部	所属課 農政課
-------	--	---------	---------

2 評価の部 (SEE)

	*原則は26年度の事後評価、たた	し復数年度事業は26年度美績を踏まれての途中評価
	①26年度目標達成度評価	□達成した □達成しなかった ⇒【原因 ¬
目標達成度評価	事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成 したか、未達成の場合その原因は?	地域の中心となる担い手に位置づける「人プラン」は認定農業者や農業法人、新規就農者の位置付けにより、着実に進んでいるが、農地集積計画である「農地プラン」は、地域で検討会が行われているものの未だ具体的になっていない。
	②27年度目標達成見込み	☑目標達成見込みあり⇒【理由 ⑤ □目標達成は厳しい ⇒【理由と対策 ⑤
	事務事業の次年度目標値に対して次年度の見 込みはついているのか?	人・農地プランに位置付けられていることが補助事業等を受けるための条件となる流れがあり、それに伴い位置付けを希望する農家が増える見込である。また、県事業である農地集積加速化事業により、人・農地プランの農地集積が進むと思われる。
	③成果の向上余地	☑向上余地がある ⇒【理由 ¬ □向上余地がない ⇒【理由 ¬
有効性評価	次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる 余地はあるか?成果が頭打ちになってないか	現状の人・農地プランは、「人プラン」が先行しており、今後、県事業の農地集積加速 化支援事業の重点モデル地区において農地集積の検討会が行われていることから、「農 地プラン」も進んでくると思われる。
	④類似事業との統廃合・連携の可 能性	□他に手段がある¬ (具体的な手段、事務事業) ☑他に手段がない → 【理由 ¬ □統廃合・連携ができる → 【理由 ¬ □統廃合・連携ができない → 【理由 ¬
	目的を達成するには、この事務事業以外他に 方法はないか?類似事業との統廃合ができる か?類似事業との連携を図ることにより、 成果の向上が期待できるか?	
	⑤事業費の削減余地	□削減余地がある ⇒【理由 ¬ □削減余地がない ⇒【理由 ¬
効率:	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕 様や工法の適正化、住民の協力など)	
評	⑥人件費(延べ業務時間)の削減 余地	☑削減余地がある ⇒【理由 □ □削減余地がない ⇒【理由 □
価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできない か? (アウトソーシングなど)	プランの作成に関し、県の農地集積専門員の協力により作業の効率化などが考えられる。
11分	⑦受益機会・費用負担の適正化余	□見直し余地がある ⇒【理由 □ □公平・公正である ⇒【理由 □
	地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平 ではないか?受益者負担が公平・公正になって いるか?	市の農業の今後を形にするプランであり、またそのプランを実行していくために必要な事業であるため。
役割	⑧行政の役割分担の適正化	☑見直し余地がある ⇒【理由 ⑤ □役割分担は適正である ⇒【理由 ⑤
的分担評価	事業事務のやり方や手段においてこれまでの 行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体 に移行できないか?	地元JAや農業委員会、県菊池地域振興局など、関係団体との役割を分担する余地はあると考える。

評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

人・農地プランの認知度も高まってきた感じがあり、地域の中心となる経営体になることに前向きな農家が多い。そうした 理由で「人プラン」のみが先行している現状だが、県事業の農地集積加速化事業により、農地集積も進む見込みである。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

,,,,,,,,,,,,,,			
(1)	今後の事業の方向性	(改革改革宏)	· · · 複粉選択可

□廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 図事業のやり方改善(有効性改善 □事業のやり方改善(効率性改善

□事業のやり方改善(効率性改善

□現状維持(従来通りで特に改革改善をしない

人・農地プランのうち、「農地プラン」については、市全域で計画するには相当な時間を要する見込みなので、県事業(農地集積加速化事業)を活用して地域の話合いを進めている地域(野々島・城・上生・江良)を中心に支援していくことで、部分的ではあるが農地集積計画の実現を図っていく。また青年就農給付金については、市民に制度周知を図り、多くの方に活用してもらい新規就農者の確保に努める。

(2)	改革	・改善による期待	持成果
/ ⊯	∉ıL.	休止の担合け記す	(不再)

コスト 削減 維持 増加 向上 0 成 維持 果 低下

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁) とその解決策